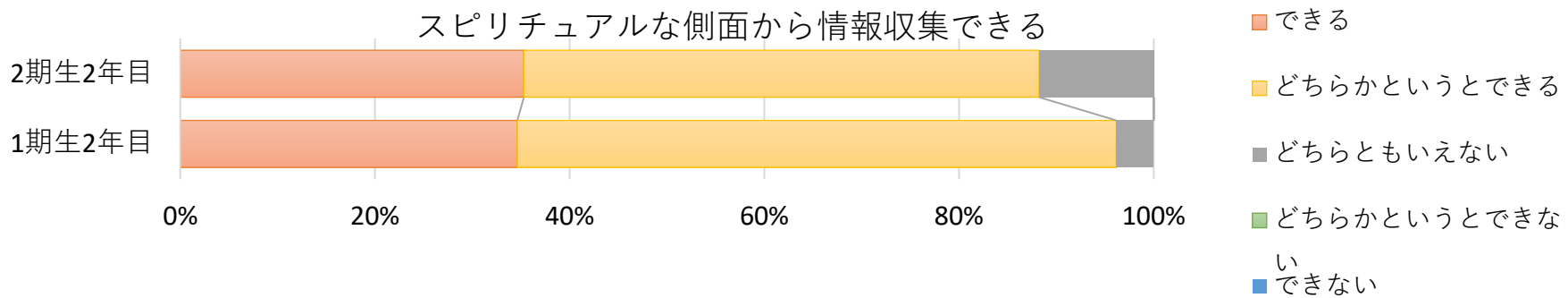


京都看護大学卒業後調査 2020年結果比較

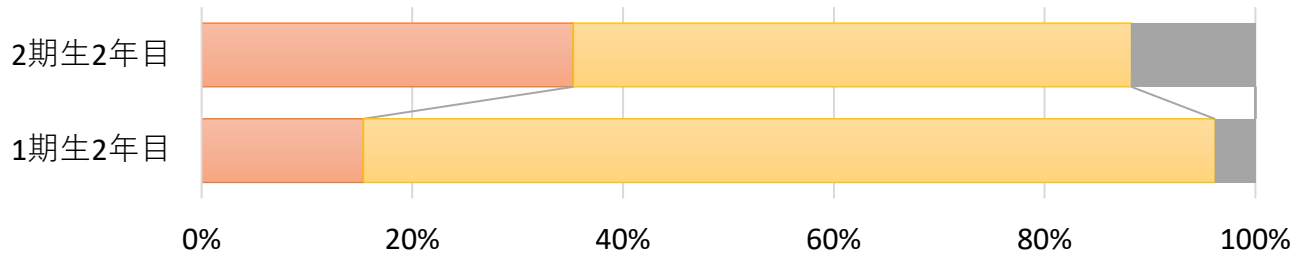
Q1 「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）のレベルⅠの自己評価

- 1期生2年目と2期生2年目の比較

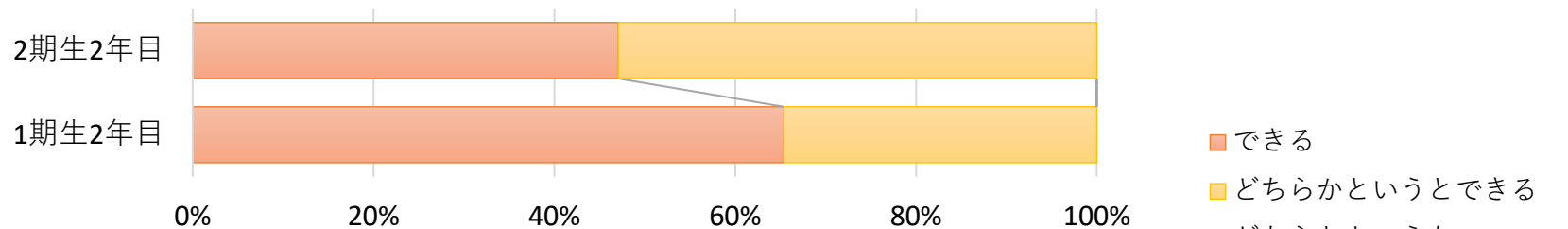
1.助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から情報収集できる



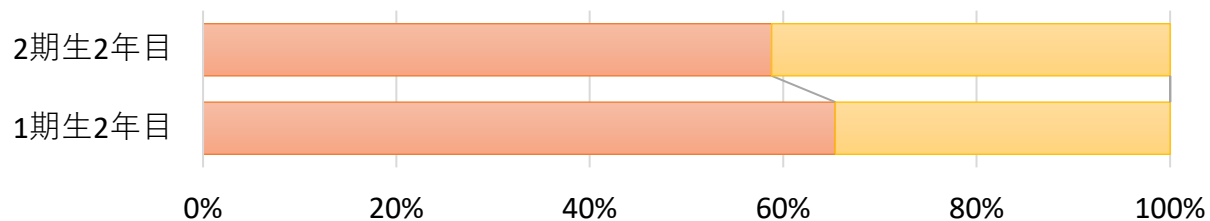
2.ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる



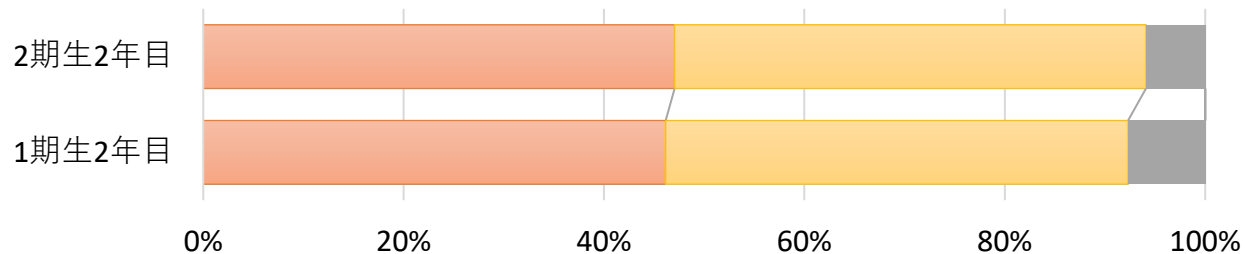
3.指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる



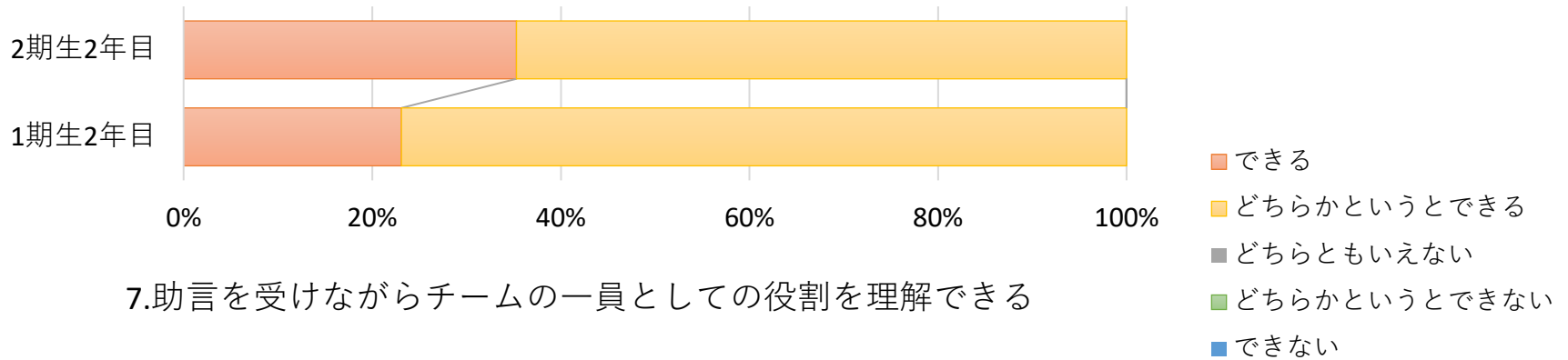
4.指導を受けながらケアの受け手に基本的援助ができる



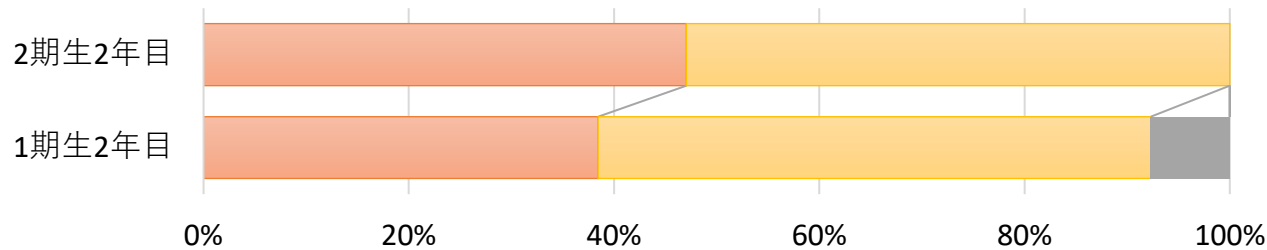
5.看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる



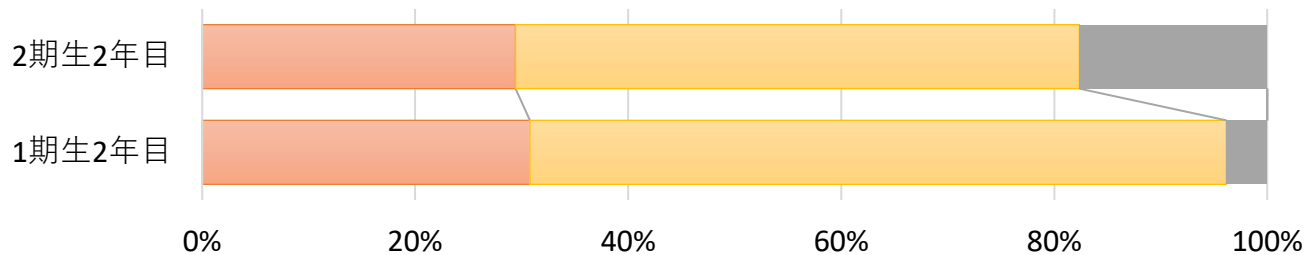
6. 助言を受けながらケアの受け手が看護をしていくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる



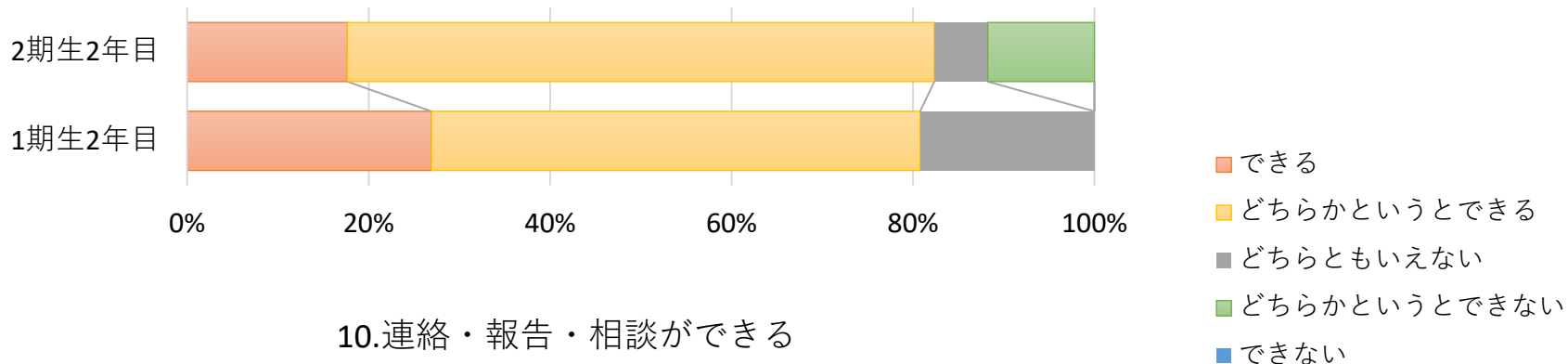
7. 助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる



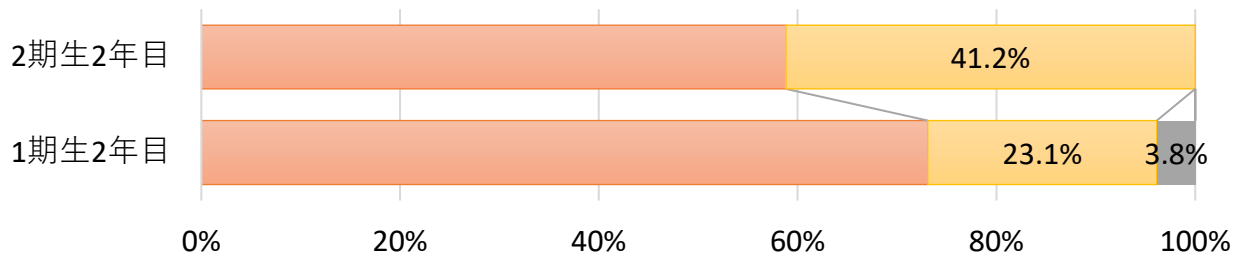
8. 助言を受けながらケアに必要なと判断した情報を関係者から収集することができる



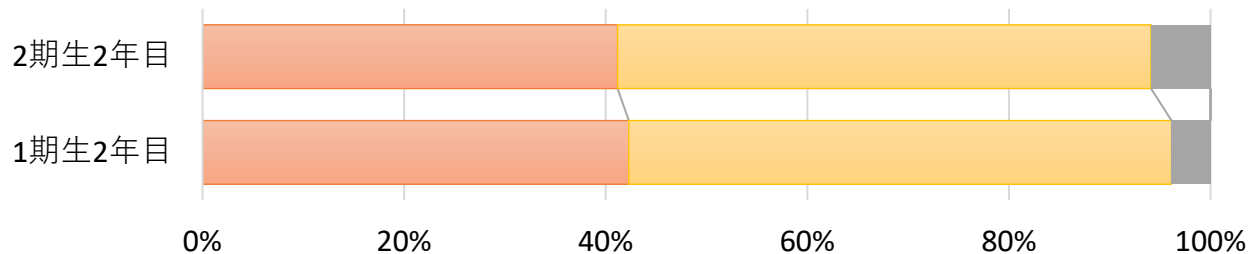
9. ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる



10. 連絡・報告・相談ができる

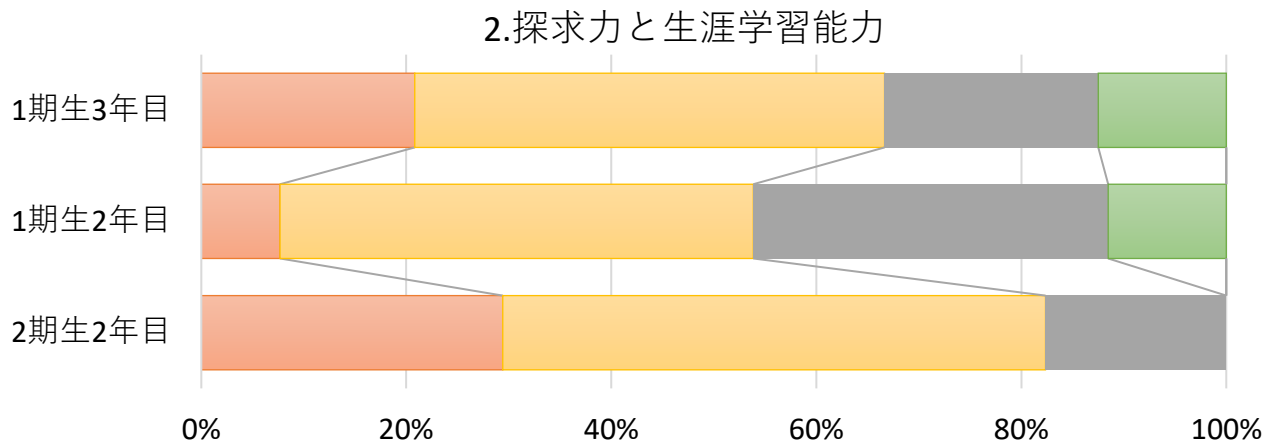
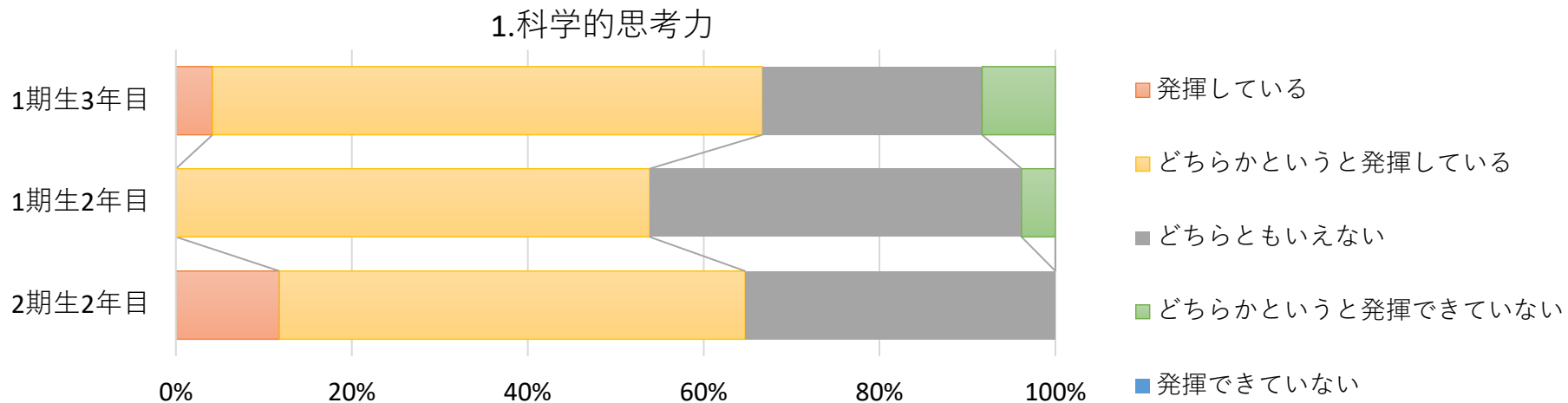


11. 助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の 思いや考え、希望を知ることができる

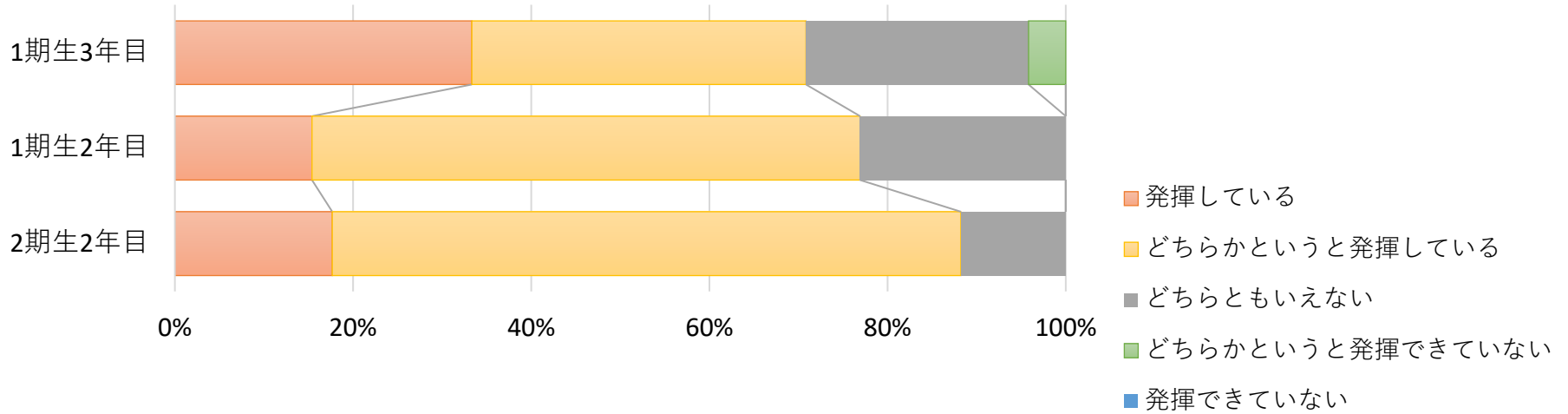


Q2 DPの自己評価

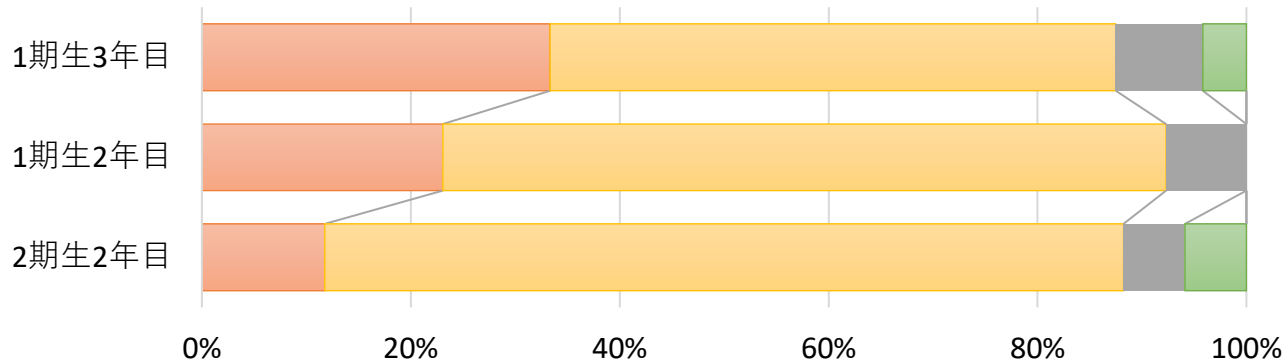
- 1期生2年目、3年目と2期生2年目の比較



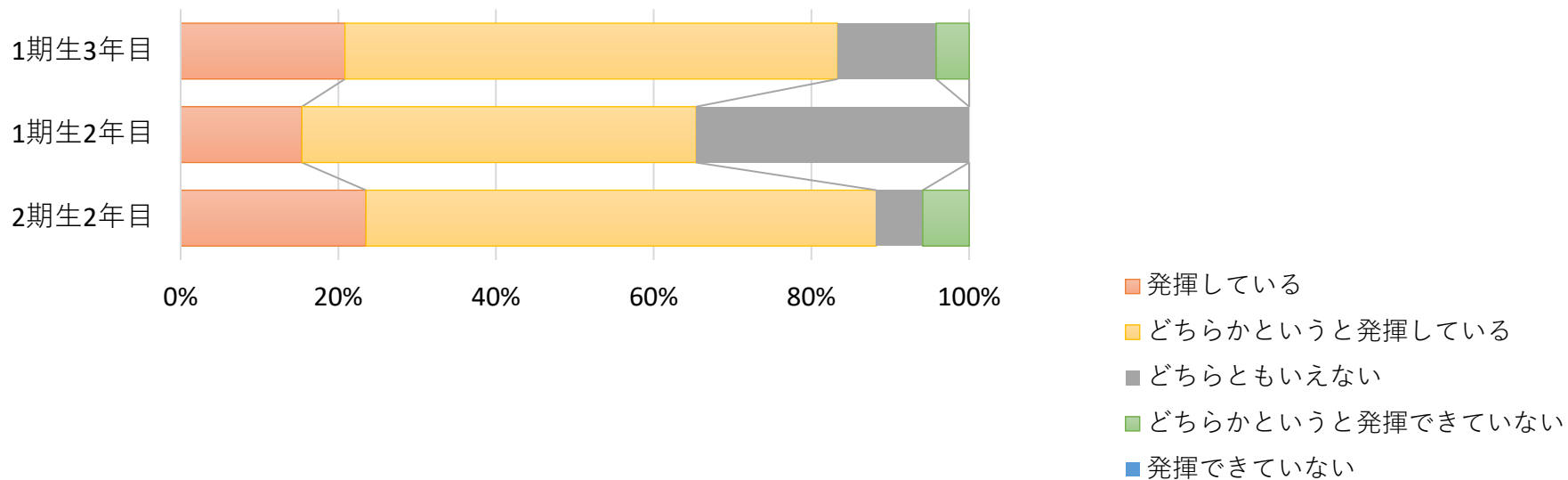
3.全人的人間理解



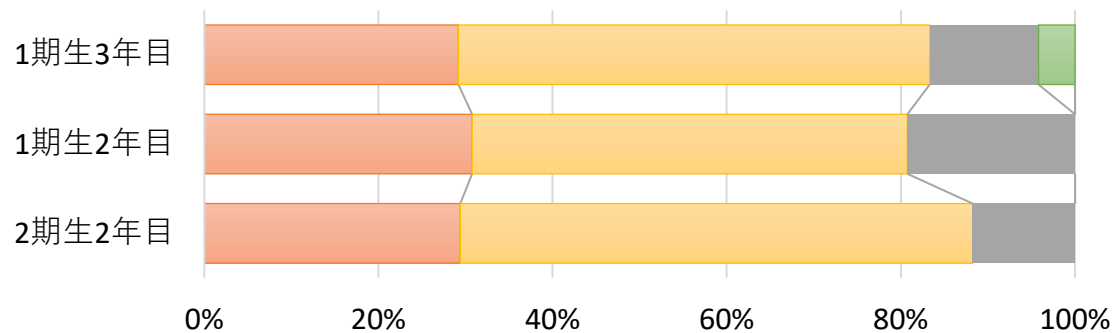
4.ケアリングとコミュニケーション



5.職業倫理と人権擁護

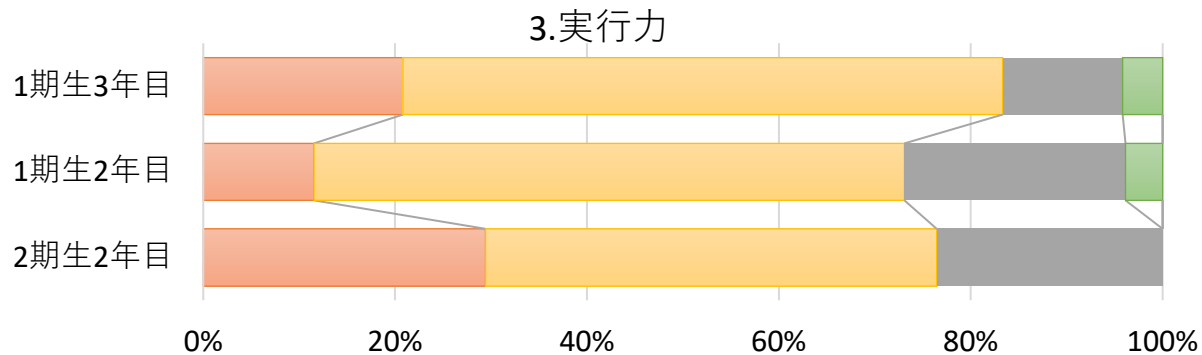
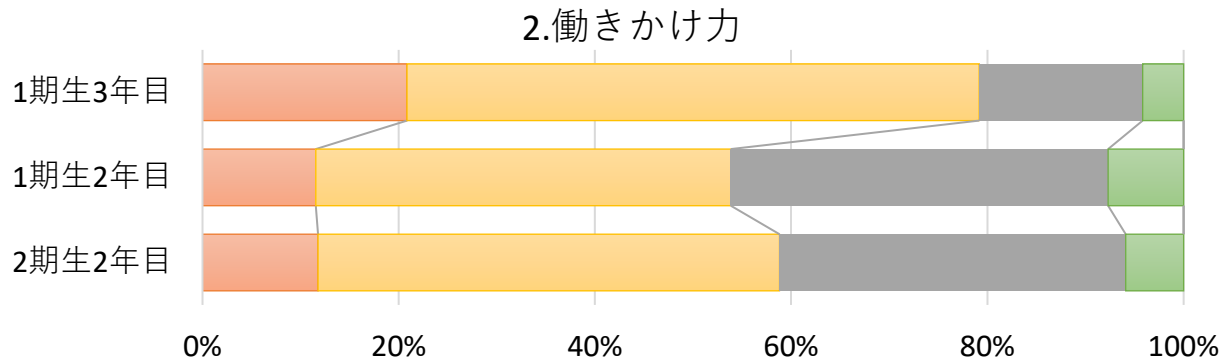
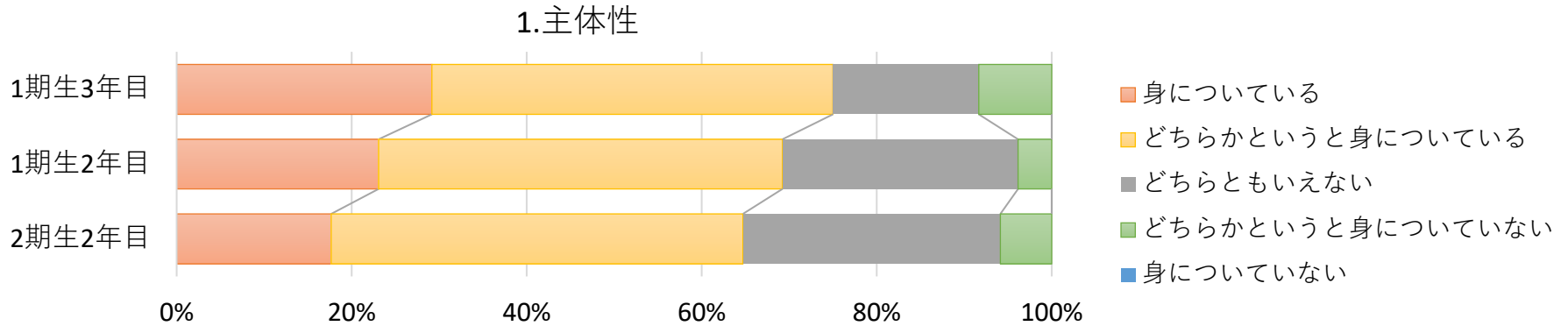


6.適切な看護実践

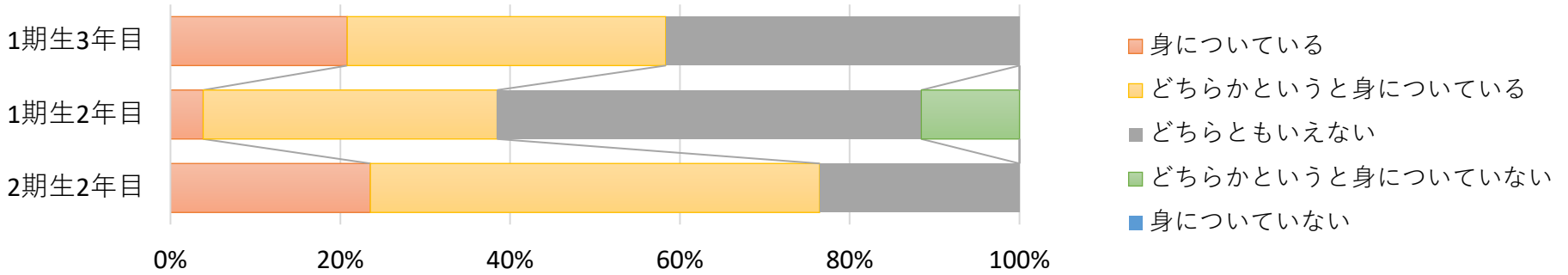


Q3 社会人基礎力の自己評価

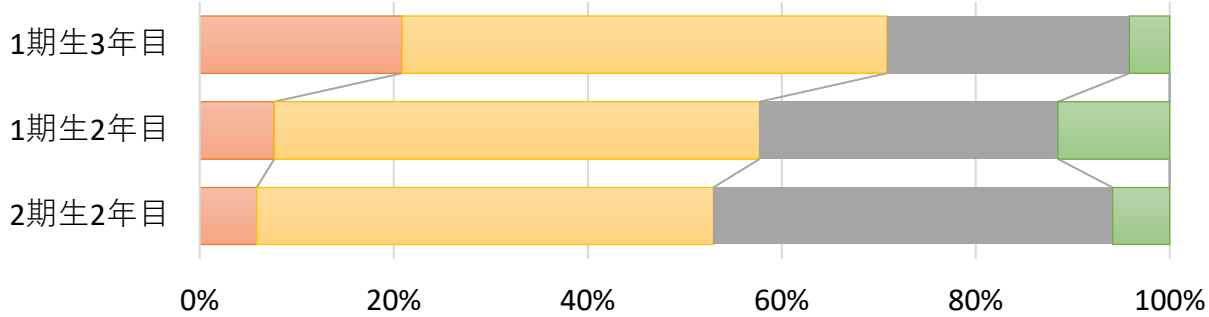
- 1期生2年目、3年目と2期生2年目の比較



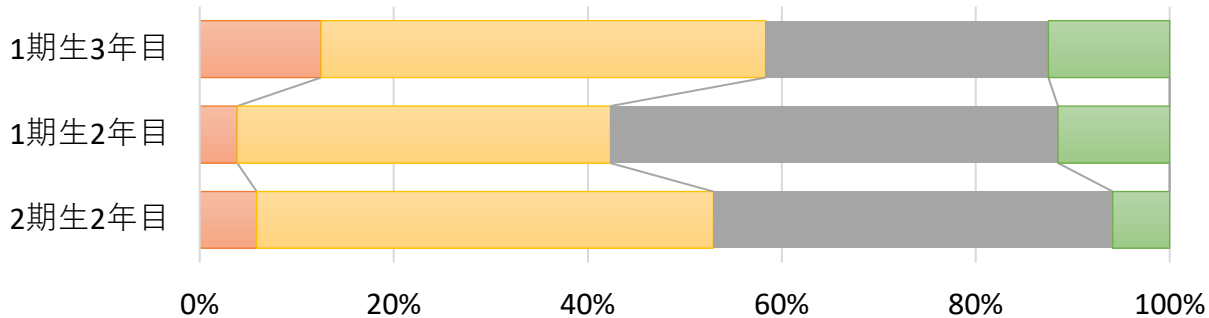
4. 課題探求力



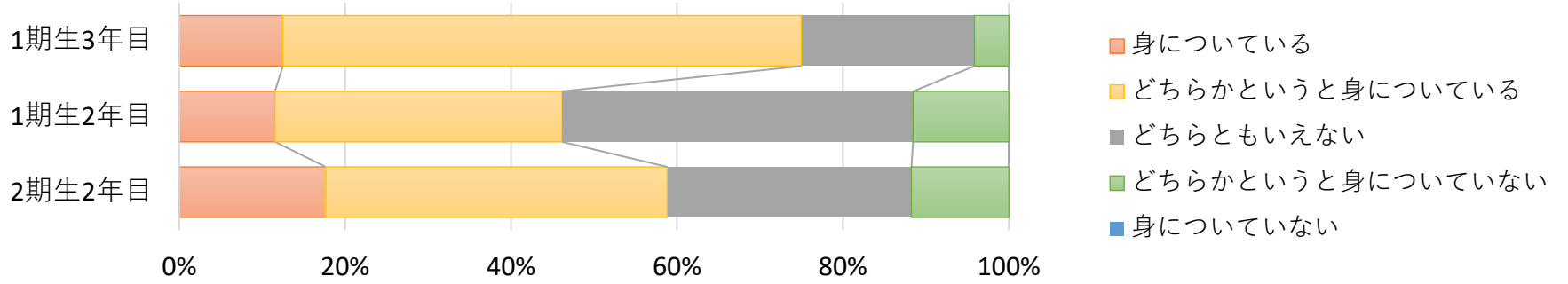
5. 計画力



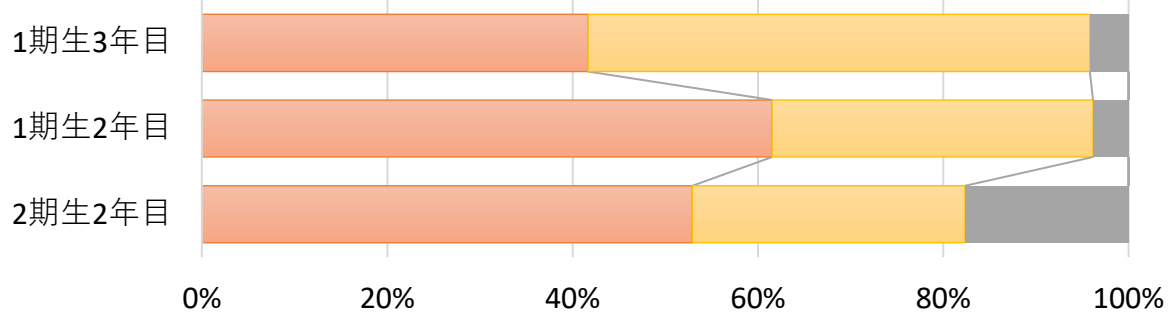
6. 創造力



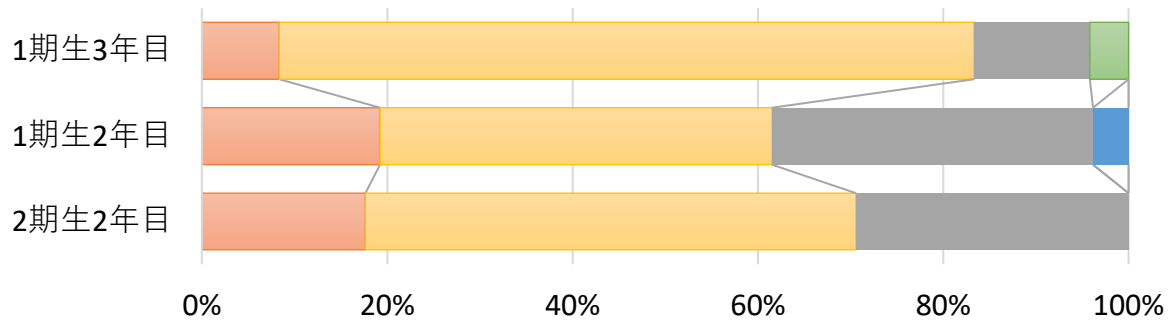
7.発信力



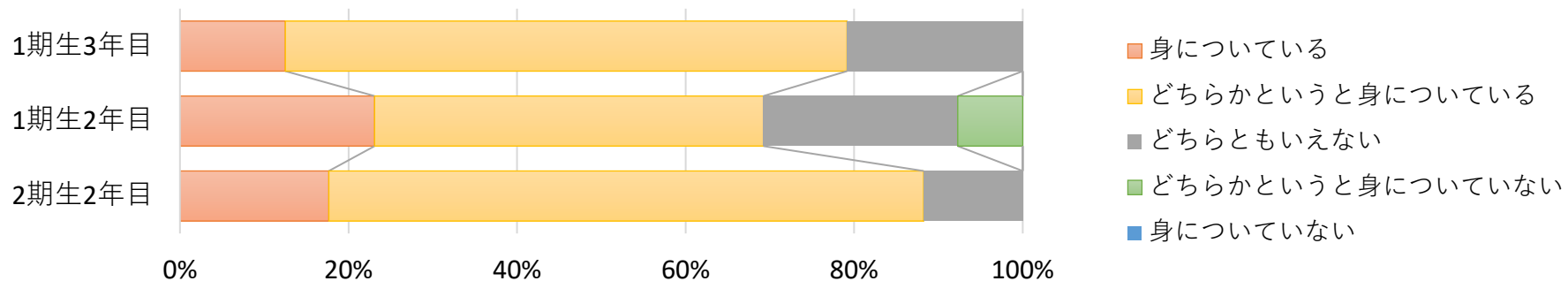
8.傾聴力



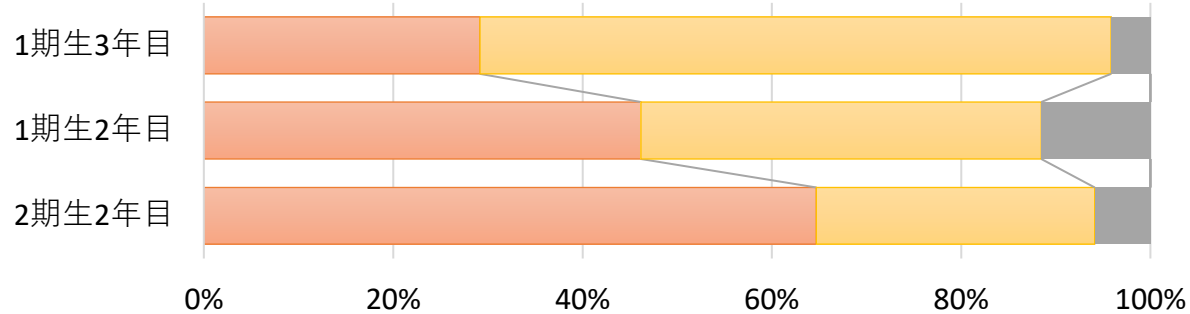
9.柔軟性



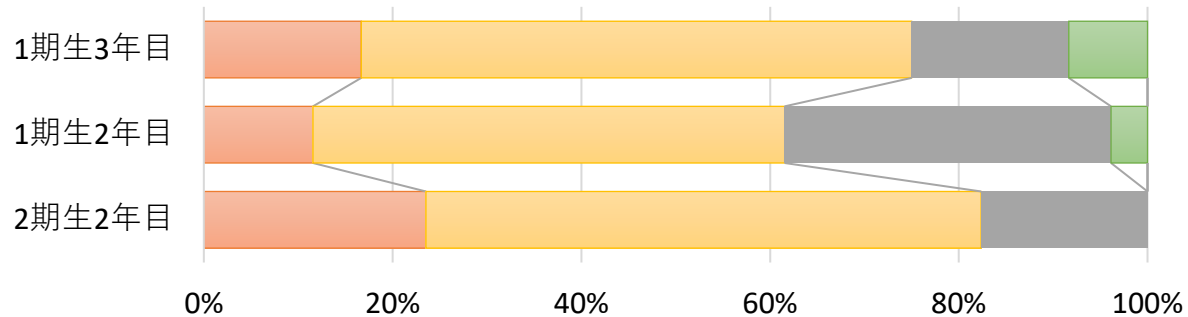
10. 状況把握力



11. 規律



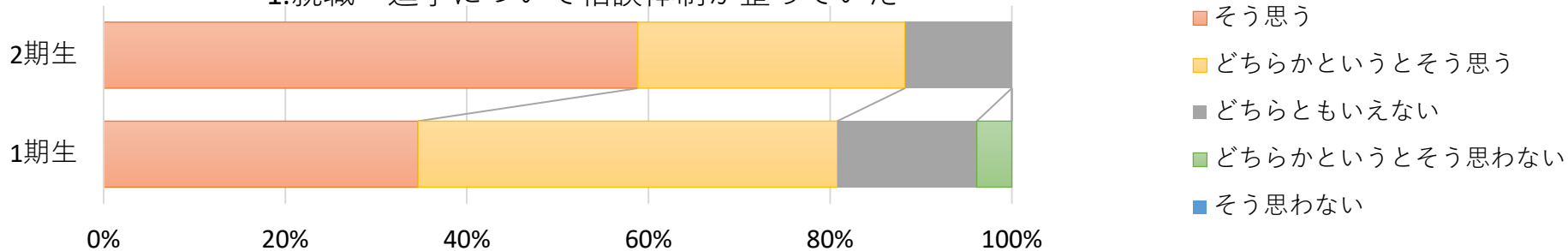
12. ストレスコントロール力



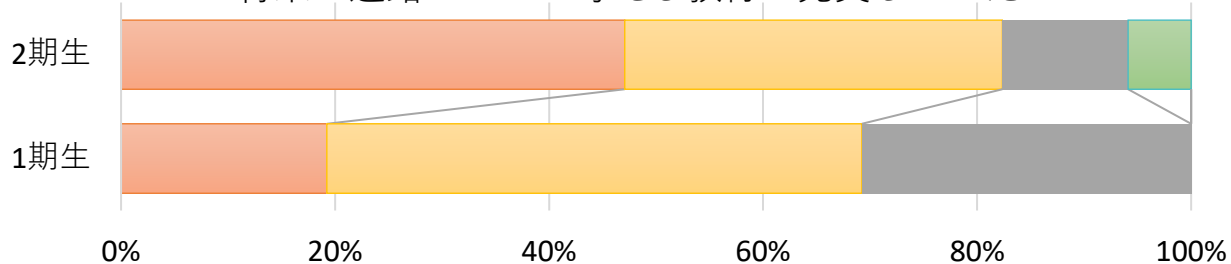
Q4 本学の進路・就職サポートへの評価

• 1期生2年目、2期生2年目の比較

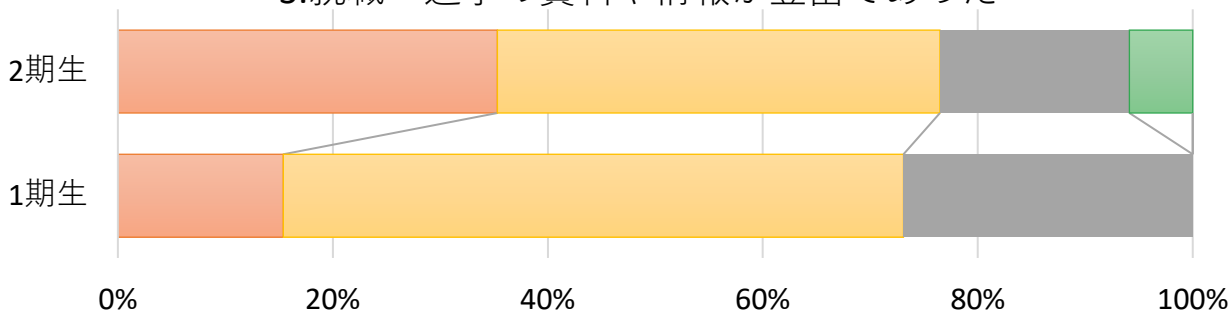
1.就職・進学について相談体制が整っていた



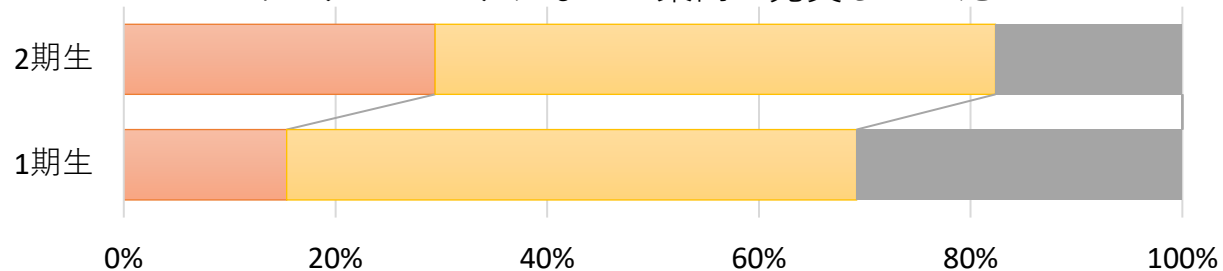
2.将来の進路について考える教育が充実していた



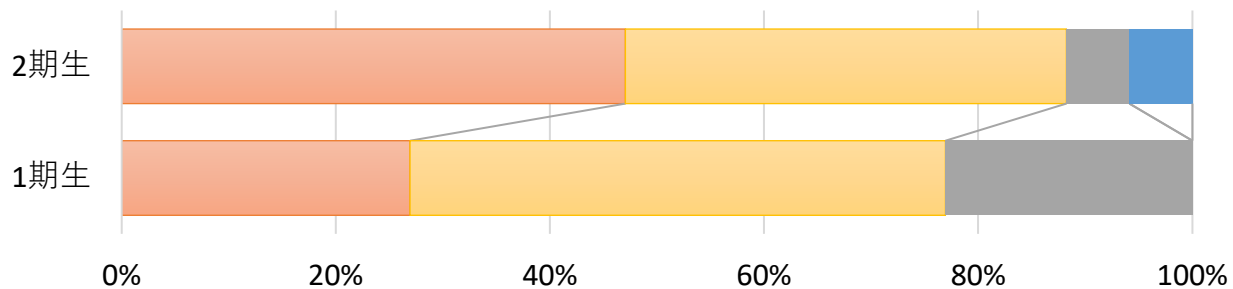
3.就職・進学の資料や情報が豊富であった



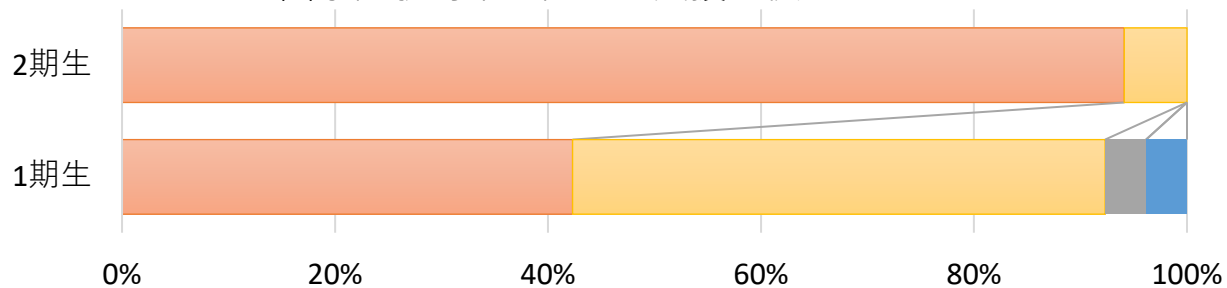
4. インターンシップなどの案内が充実していた



5. 就職ガイダンスは将来を考えるうえで役に立った



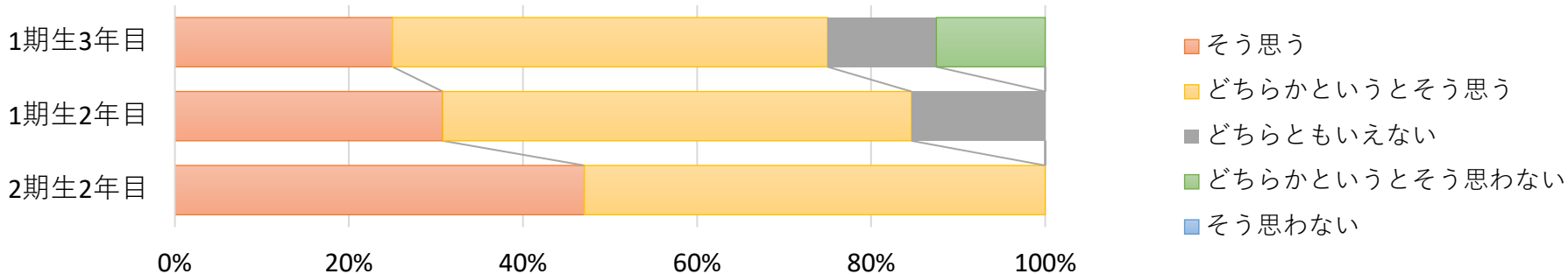
6. 国家試験対策に関する支援は役に立った



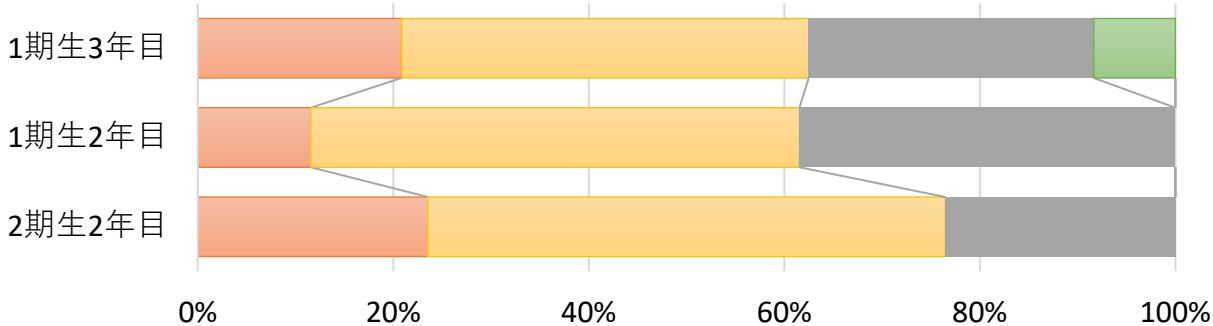
Q5 京都看護大学への思い

- 1期生2年目、3年目と2期生2年目の比較

1. 京都看護大学に愛着を持っている



2. 看護系大学を目指す人に京都看護大学を勧めたい



3. 京都看護大学に在学したことを誇りに思う

